

平成 27 年度 自己点検・自己評価結果概要

1.自己点検・自己評価の取り組み

本校では、平成 19 年度より「組織運営にする自己評価規程」を定め、「看護専門学校組織運営評価インベントリ」を用いて、自己点検・自己評価を行ってきた。今回、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を基に点検項目・システム全体の見直しを行い、「評価カテゴリー」9 領域（大項目）「点検」67 項目（中項目）「点検数」116 項目（小項目）を設定し自己点検・自己評価を実施した。

2.実施方法

①評価項目 9 領域 116 項目

I. 教育理念・教育目的 II. 教育目標 III. 教育課程経営 IV. 教授・学習・評価過程
V. 経営・管理過程 VI. 入学 VII. 卒業・就職・進学 VIII. 地域社会・国際交流
IX. 研究・研修活動

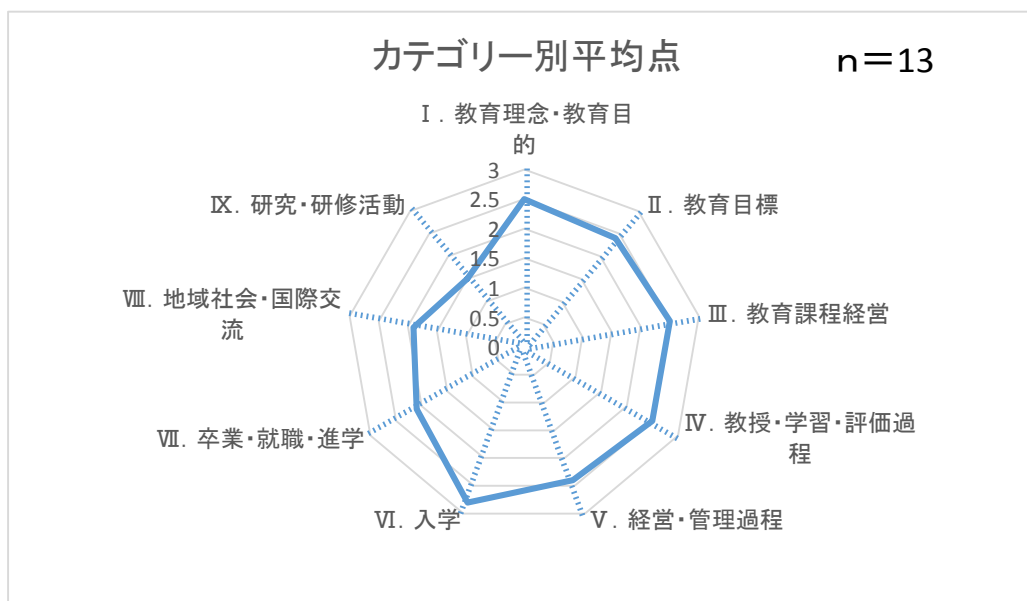
②評価基準：3 段階評価（3：当てはまる 2：やや当てはまる 1：当てはまらない）

③評価時期：平成 27 年 12 月～平成 28 年 2 月

④評価者：教員 13 名

3.評価結果

9 領域を評価基準に基づき評価した結果は以下に示すとおりである。



4.まとめ

本校は教育理念・教育目的・目標を掲げ、それらに則りカリキュラムを構成し、教育活動を行っている。

開校以来、君津中央病院をはじめ、地域の保健・医療・福祉に貢献する看護師を育成する看護専門学校であることを職員全員が認識し、地域社会の要請に対応できる専門職業人を輩出するために努力してきた。また同時に社会の要求や学習環境の変化に応じ、教育内容の改善にも取り組んできた。

今回、新たに自己点検・自己評価の点検項目・システム全体を見直し、これまで実施してきた本校の教育活動を項目ごとに分析した。実施した13名の教員の教員経験及び本校での教員経験からみた評価の明らかな乖離は見られない。むしろ、未記入項目があることから自己点検・自己評価マニュアルの説明・理解が不十分だったと考えられる。

今回実施した結果から、いくつかのカテゴリーにおいて改善を行うことによりさらに教育活動の質向上につながる事が明らかになった。

5.課題

- ①看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標の評価尺度の作成と実施
- ②卒業生の就業先での評価の把握・問題の明確化(卒業生の動向調査)
- ③学生生活に対する学生満足度調査の実施
- ④教員の研究活動の保証(時間的・財政的・環境的)
- ⑤教員の研究活動を助言・検討する体制の整備及び教員相互で支援しあう文化的素地の醸成
- ⑥看護教員ラダー(看護教員実践能力習熟段階)の取り組みの検討
- ⑦危機管理マニュアルの作成

今後、これらの実現に向けて取り組み、看護教育の質向上と保障のため、全教職員が一体となって努力していきたい。